

スケジュール

10月5日(土) 12:00 開場 12:30 開会

12:30-12:50	プロローグ	小国川の今。清流を守る会
12:50-14:10	基調講演 1	山田 桂一郎 地域を再生に導く、真の観光政策とは？
14:15-15:15	基調講演 2	大熊 孝 川とは？ - 川と共生する治水のあり方 -
15:20-16:10	基調講演 3	竹門 康弘 ダムと環境 - 穴あきダムの環境影響 -
16:15-16:35	全国からの報告	中 登史紀 石川県 辰巳ダム(穴あきダム)の真実
16:45-18:15	パネルディスカッション	「赤倉温泉と小国川の未来を考える」 ● 鈴木 康友 つり人社 社長 小国川の鮎の魅力 ● 高橋 務 三之丞旅館主人 赤倉温泉を考える ● 高桑 順一 最上小国川の清流を守る会 共同代表 元高校教諭 ● 川辺 孝幸 最上小国川の清流を守る会 共同代表 山形大学教授 ● 山田 桂一郎 観光カリスマ ● 大熊 孝 新潟大学名誉教授 河川工学者 ● 竹門 康弘 京都大学防災研究所 准教授
夜の部	大懇親会	小国川の松原鮎を食べながら

温泉

鮎



10月6日(日)

8:30-10:00	現場を歩いて考える。赤倉温泉街周辺とダム建設現場エクスカージョン。
10:15-12:00	全体討議 赤倉温泉地域の治水と活性化策を考える。「大会宣言」

※進行の都合により、変更する場合がありますのでご了承ください。

ゲスト講師プロフィール



山田 桂一郎 Keiichiro Ymada

1965年三重県生まれ。スイス在住。スイス・ツェルマット観光局勤務を経てJTIC.SWISSを設立。2005年に観光庁 観光カリスマ100選:「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」として認定。ヨーロッパを中心とした環境保全と世界各地における観光・集客交流事業の実践経験を活かし、国内各地の観光振興・地域再生のコンサルタントとして活動。2011年には「日経ビジネス誌」において「次代を創る100人」の一人として選出される。冬は、スイスで唯一の日本人スキー教師、トレッキングガイドでもある。



鈴木 康友 Yasutomo Suzuki

1949年東京下町生まれ。「スーさん」と鈴木康友氏。江戸前のはぜ釣りから世界中の川でのフライフィッシング、カワハギ釣り、ヘラブナ釣りなど、いろいろな釣りに精通しているが、いちばん好きなのはアユの友釣り。毎年夏になると全国各地にアユをもとめて飛び廻り、小国川には30年以上通っている。「つり人」「Flyfisher」などでおなじみ「つり人社」社長。



大熊 孝 Takashi Okuma

1942年8月台北市生れ。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了後、新潟大学工学部助手に着任、講師、助教授、教授を経る。2008年4月新潟大学名誉教授。1987年新潟の水辺を考える会代表、2002年NPO法人新潟水辺の会代表。「洪水と治水の河川史」(平凡社、1988)「日本のダムを考える」(岩波1995、共著)、「技術にも自治がある一治水技術の伝統と近代」(農文協、2004)、「社会的共通資本としての川」(東大出版会、2010、編著)他。



竹門 康弘 Yasuhiro Takehana

1957年東京生まれ。京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 准教授 理学博士。故郷の川は多摩川。幼い頃から山、川、海、魚、草花を見て育つ。小学6年生当時の志は、植物分類学者になることだったが、高校時代に生物部で水生昆虫の面白さを知る。大学ではワンダーフォーゲル部で沢登りをした。現在の趣味は磯釣りと山菜採り、河川生態学、ダムの自然環境への影響評価について等 多くの論文を発表。「棲み場所の生態学」(シリーズ 共生の生態学 共著)著者。